

《投 稿 規 程》

1. 本誌の目的

本誌は一般社団法人山形県理学療法士会の学術誌として、理学療法および関係領域における研究発表と実践報告の場を提供することを主目的とし、発行は年1回とする。

2. 記事の種類

- ①研究論文：新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。
- ②症例研究：症例の臨床的問題や治療結果について科学的に研究を行い、考察を行った論文。
- ③短 報：研究の速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。
- ④そ の 他：総説、症例報告、実践報告、調査報告など学術誌部で掲載が適切と判断された論文および記事。
(なお、症例報告とは症例の治療および経過などについて論理的に提示し、考察を行ったもの。実践報告とは、理学療法の研究・教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断されたもの。調査報告とは、調査アンケート等を用いてその結果を発表するもの。)

3. 投稿者の資格

本誌への投稿は原則として本会の会員に限る。但し、山形県理学療法士会理事会の決定により会員に限らず投稿を依頼することができる。

4. 投稿原稿の条件

投稿原稿は、他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。本規程および執筆要綱に従って作成すること。

5. 投稿承諾書

別紙の投稿承諾書に自筆による署名をして投稿論文に添付すること。

6. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、山形県理学療法士会に属するものとする。また、本誌に掲載された論文はオンライン公開される。

7. 研究倫理

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針（註1）に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

8. 投稿論文に関連する利益相反

利益相反の可能性がある事項（コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許など）がある場合は投稿時に書面で報告すること。なお、利益相反に関しては厚生労働省の指針（註2）を参照すること。

9. 原稿の採択

原稿の採否は2名の査読者の意見を参考に学術誌部において決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の修正を求められることがある。修正を求められた場合は決められた期限以内に修正稿を再提出すること。なお、必要に応じて学術誌部の責任において字句の訂正を行うことがある。

10. 校正

著者校正は原則として1回とする。

11. 原稿送付方法および連絡先

1) 原稿送付方法

原則として、投稿原稿（チェック表を含む）を電子メールに添付して学術誌部へ送付すること。上記

が不可能な場合は問い合わせること。

2) 原稿送付先および連絡先

〒992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚2000番地
公立置賜総合病院リハビリテーション部内
山形県理学療法士会学術局学術誌部 横山 敬宏 宛
TEL : 0238-40-1772 (直通) E-mail : ygakujutu@gmail.com

註1 : <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html>

註2 : <http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/index.html>

《執筆要綱》

1. 論文の構成

- 1) 標題 (表題) : 内容を具体的かつ的確に表し, できるだけ簡潔に記載する。なお, 和文および英文の両方を記載する。原則として略語・略称は用いない。
- 2) 著者名 : 著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。著者名は, 和文および英文の両方を記載すること。なお, 査読開始後の著者の変更は原則認めない。
- 3) 要旨 : 「目的」, 「方法」, 「結果」, 「結論」について項を分けて簡潔に記載する。また, 研究論文 (原著), 短報以外の記事の種類論文においては, 著者の判断で項目名を変更してもよい。
- 4) キーワード : キーワード数は 3 個とし, 各キーワード間はセミコロン (;) で区切って記載する。
- 5) 本文 : 本文は原則以下の項目に沿って構成すること。ただし, 研究論文 (原著), 短報以外の記事の種類論文においては, 著者の判断で項目名を変更してもよい。

①はじめに (序論, 緒言)

研究の背景, 臨床的意義, 研究の目的, 取り扱っている主題の範囲, 先行研究との関連性の明示などを記述する。

②対象および方法

研究方法については第 3 者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。

③結果 (成績)

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。

④考察 (分析)

結果の分析・評価, 今後の課題などを記述する。

⑤結論

研究で得られた結論や症例報告のまとめ等を簡潔に記述する。

⑥謝辞

必要に応じて記載する。著者資格には該当しない研究への貢献者, および助成金受給については謝辞に記載する。

- 6) 文献 : 文献は最小限にとどめる。記載方法については次頁「5. 文献」を参照のこと。

2. 投稿原稿の構成

表紙頁, 著者頁, 要旨, 本文, 文献, 図表, 図表の説明文で構成する。原稿の順序は, 1 ページ目を表紙とし, 表題 (和文, 英文), 著者 (筆頭著者および共著者全員分の和文, 英文), 所属名, 所属住所 (郵便番号も明記) と電話番号, FAX 番号, メールアドレス, 希望原稿種類 (研究論文, 症例報告など) を, 2 ページ目は要旨ならびに日本語キーワードを記載し, 3 ページ目から本文とする。

3. 原稿の規程分量

原稿スタイルは, A 4 判で 12 ポイント明朝体, 全角 20 文字 × 35 行とする。本文原稿は 6,000 字以内とし, 図表・写真 (白黒) は 5 枚以内とする。ただし, 5 枚を越える場合は, 図表・写真 1 枚につき本文 400 文字を減ずること。論文には要旨 (400 字程度) をつける。

4. 図・表

図・表および写真には図 1, 図 2, あるいは表 1, 表 2, のようにそれぞれ番号を付けて, 一括して原稿の末尾に添えることとして原稿 (本文) 中にはレイアウトしない。なお, 図・表の挿入場所が分かるように, 適宜, 文中で触れている説明文などに図○, 表○あるいはカッコで囲んで (図○)(表○) のように

記述すること。図・表は投稿用に作成し直すこと。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとること。使用する写真は、鮮明なものを使用し、個人が特定されないように目を隠すなど配慮すること。図・表および写真には必ず見出し（表題）を付ける。その場合、図の見出しは図下に、表の見出しは表上に付けること。なお、図・表についてその内容を示す文章を図・表とは別ページに簡潔に記載すること。

5. 文 献

文献は最小限にとどめ、本文の引用順に並べる。引用文献は引用箇所の肩に1)などの番号を上付き文字として示し、本文原稿の最後に番号順に記載する。記載方法は、雑誌の場合は、著者氏名、論文題名、雑誌名、巻、ページ（最初-最後）、発行西暦年。単行本の場合は、著者氏名、書名、編者名、発行所名、発行地、発行西暦年、ページ。訳本の場合は、原著者名、書名、発行所、発行西暦年（訳者名、書名、発行所名、発行地、発行西暦年、ページ）の順に書くこと。文献の省略は公の省略法（Index Medius）に従う。文献の著者が2名以上の場合は、筆頭者を書き、残りは「・他」または「, et al」とする。

(例)

① 雑誌の場合

1) 小室透・他：片麻痺の運動時皮膚温変化. 理学療法学 18 (1) : 5-11, 1991. 2) Hulme JB, et al : Communication between physicians and physical therapists. Phys Ther68 (1) : 26-31, 1988.

② 単行本の場合

3) 野島元雄：進行性筋ジストロフィー症, 各種神経筋疾患. 「リハビリテーション医学全書 20」. 上田敏 (編), 医歯薬出版, 東京, 1975, pp160-269.

4) Desmedt JE, et al : Progress in Clinical Neurophysiology. (ed. by Desmedt JE), Vol.8, Karger, Basel, 1980, pp215-242.

③ 訳本の場合

5) Oh JS : Clinical Electromyography-Nerve conduction studies (Second Edition). Lippincott Williams&Wilkins, Philadelphia, 1993 (白井康正監訳, 筋電図実践マニュアル-各種検査法の手技とデータ解釈. メディカルサイエンスインターナショナル, 東京, 2002, pp43-62).

④ ホームページの場合

6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成23年度版. <http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html> (2011年12月19日引用)

6. 数量の単位

単位は原則として国際単位系 (SI 単位) を用いる。長さ : m, 質量 : kg, 時間 : s, 温度 : °C, 周波数 : Hz 等。

7. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

8. 本文の表記方法

句読点は「。」および「,」を用いる。

9. 機器名の記載法

機器名は、「一般名 (会社名, 製品名)」で表記する。なお, 統計ソフトは「製品名, バージョン番号」とする。

10. チェック表

投稿に当たっては, チェック表で確認し, チェック表も送付すること。

11. その他

- 1) 必要がない限り表に縦線は使用しないこと。
- 2) 原稿には, 表紙を含め行番号およびページ数を必ず記入する。
- 3) 原稿は採否に関わらず原則として返却しない。

「山形理学療法学」投稿承諾書

下記の論文を「山形理学療法学」へ投稿します。本論文は、過去に他誌に掲載済みではなく、現在も掲載が予定されていません。また、「山形理学療法学」に掲載後の本論文の著作権は、山形県理学療法士会に帰属することを承諾いたします。

また、共著者がいる場合は、共著者として本論文内容に責任を持ち、同意していることを確認いたします。

論文題目： _____

筆頭著者

<会員番号>	< 所 属 >	< 氏名（自筆署名） >
_____	_____	_____

共著者

<会員番号>	< 所 属 >	< 氏名（自筆署名） >
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

年 月 日 提出

*非会員である場合は、会員番号欄に職種名をご記入ください。

*共著者欄が不足の場合は、この用紙をコピーしてご使用ください。